

- 第一回 北海道 地域フィジカルインターネット懇談会
- 2023年7月28日

- 株式会社カスミ 営業統括本部
- SCM担当マネジャー
- 齋藤雅之（さいとう まさゆき）

Supermarket

KASUMI

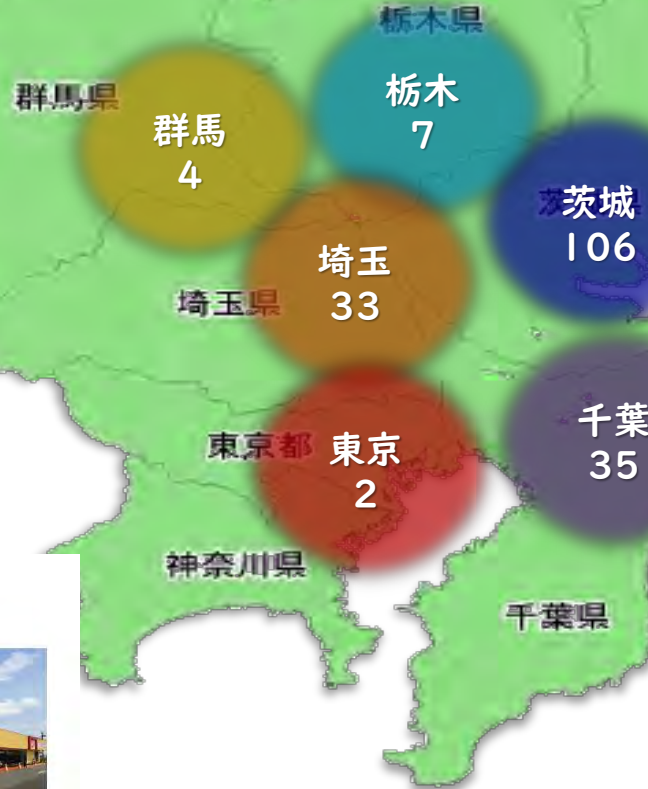
いいね！をよろこびに

カスミ物流体制の紹介

Supermarket

KASUMI

いいね！をよるこびに



- ◇創業 1961年
- ◇店舗数 194店舗
- ◇資本金 1億円(2020年3月末)
- ◇営業収益 2,845億円(2023年4月末)
- ◇本社 茨城県つくば市
- ◇事業内容 食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業

業態紹介 共感創造店舗づくり
ライフスタイルに合わせ、より便利に快適に。



料理と食生活を提案する
フラッグシップ店舗

食への提案機能と快適なサービスのフラッグシップ店舗です。お客様による市場での選出、クッキング、コミュニケーションコーナーによるメニュー提案、採入品展示を追求した専門の購入など、コミュニケーションの充ちた店舗づくりを行っています。



Food Market
KASUMI

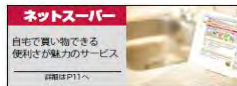
FOOD OFF
STORES

鮮度のよい商品と便利さを
提供する標準店舗

常に新鮮な商品と便利さを追求する標準店舗です。ターゲットとするファミリー層を中心に、地域の食習慣や生活スタイルに合わせた商品構成を追求し、地域密着型の店舗づくりを行っています。

エブリデイ・ロー・プライスを
追求する価格訴求型店舗

商品の質を高め、価格を低く抑えることで、コストパフォーマンスを高め、安全・安心な商品を提供。幅広い層から支持される店舗です。2024年に店舗を開設し、店舗ニーズをさらに満たすための業態転換を進めています。店舗の質と数量を追求しています。



**スーパーマーケット
店舗数：194店舗**

**小型スーパー4店舗
無人店舗1店舗含む**

ロジスティクスセンター

CDC
中央流通センター



IDC
岩瀬流通センター



SDC
佐倉流通センター



KDC
kasumi Dry Center



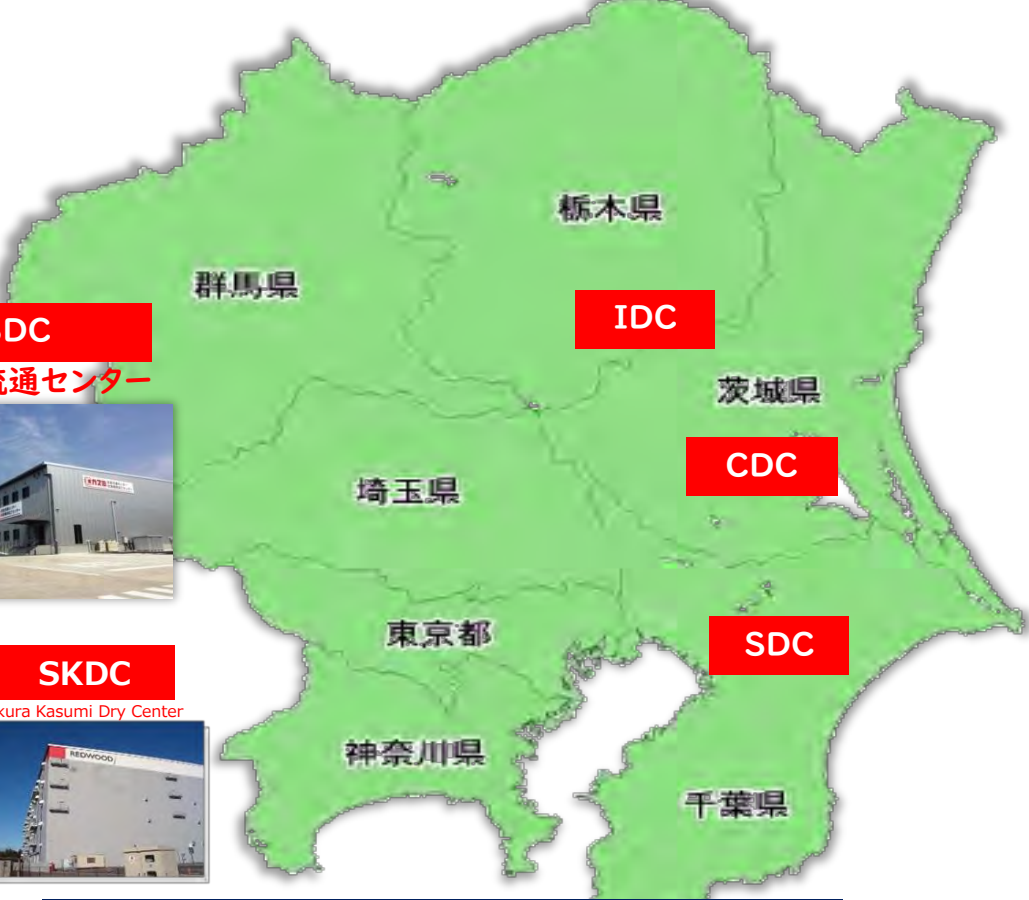
中貫DC
Nakanuki Distribution Center



千代田倉庫
Chiyoda warehouse



SKDC
Sakura Kasumi Dry Center



加工センター

- 精肉 PC
- 青果 PC
- 惣菜 PC



・ KASUMI
PDC
MEAT packing
Processing Center



・ KASUMI
Green
VEGETABLE
Processing Center



・ KASUMI
Rose.co
DELICATESSEN
Processing Center



配送・構内業務委託企業

- 飯塚運輸株式会社
- 生熊運送株式会社
- SBSロジコム株式会社
- 三共貨物自動車株式会社

業務委託体制

カスミSCM

国分関信越(株)

KDC

ドライ
DC

SBS
ロジコム

SKDC

CDC

各協力企業

ドライ
TC

SBS
ロジコム

チルド
TC

飯塚運輸

配送

飯塚運輸
生熊運送
SBSロジコム

IDC

三共貨物

ドライ
TC

三共貨物

チルド
TC

配送
三共貨物
SBS
ロジコム

SDC

SBSロジコム

ドライ
TC

チルド
TC

配送

SBSロジコム

カスミの物流戦略

作る人

運ぶ人

使う人

地域産品・地域商品

地域生産者

大量工場生産品

工場メーカー

海外生産品

輸入商社

集荷・流通加工・在庫・経由

市場・問屋物流 (TC>DC)

在庫・流通加工・出庫

メーカー・問屋物流 (DC)

在庫・流通加工・出庫

問屋物流 (TC<DC)

GMS/SM/CVS

在庫・流通加工・経由

小売物流 (TC≥DC)

- ①店舗販売
- ②ネット販売
- ③移動販売
- ④電話販売
- ⑤会員販売
- ⑤御用聞き販売

加工・販売・注文

店舗

店舗

店舗

生活者

生活者

生活者

生活者

生活者

生活者

生活者

生活者

生活者

消費

注文

地域産品・地域商品

地域生産者

大量工場生産品

工場メーカー

海外生産品

輸入商社

在庫・流通加工・出庫

ネット販売企業

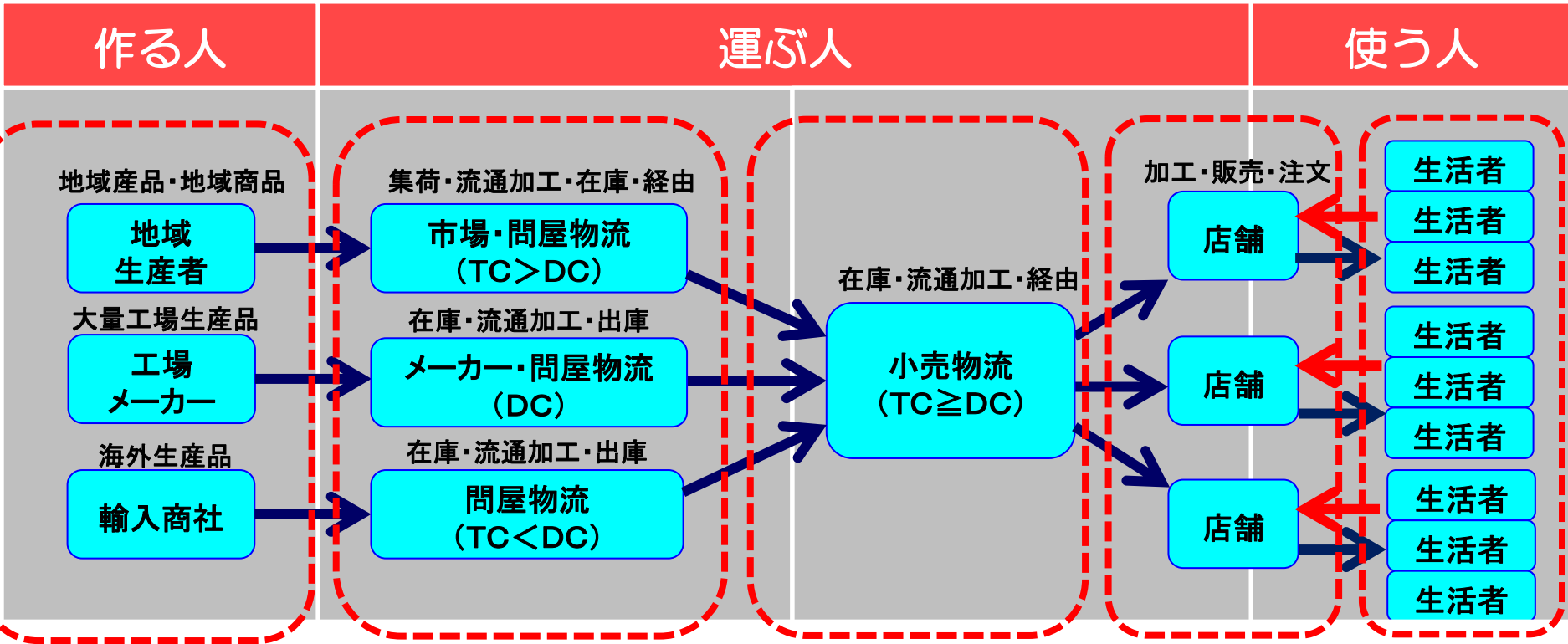
消費・注文

生活者

生活者

生活者

V S



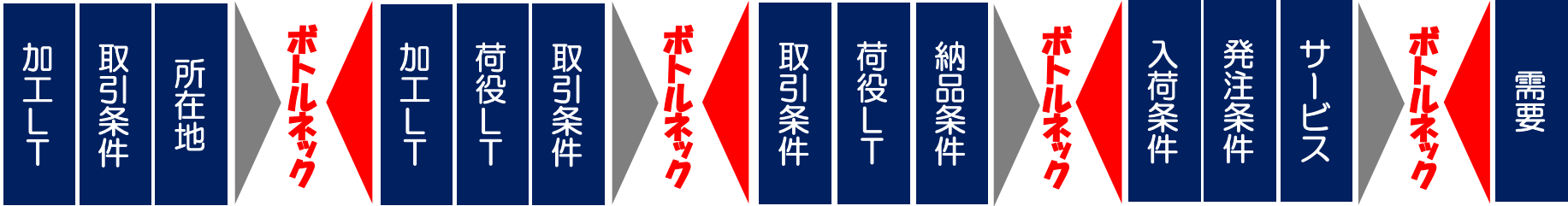
生産者

ベンダー物流

流通加工/店舗配送

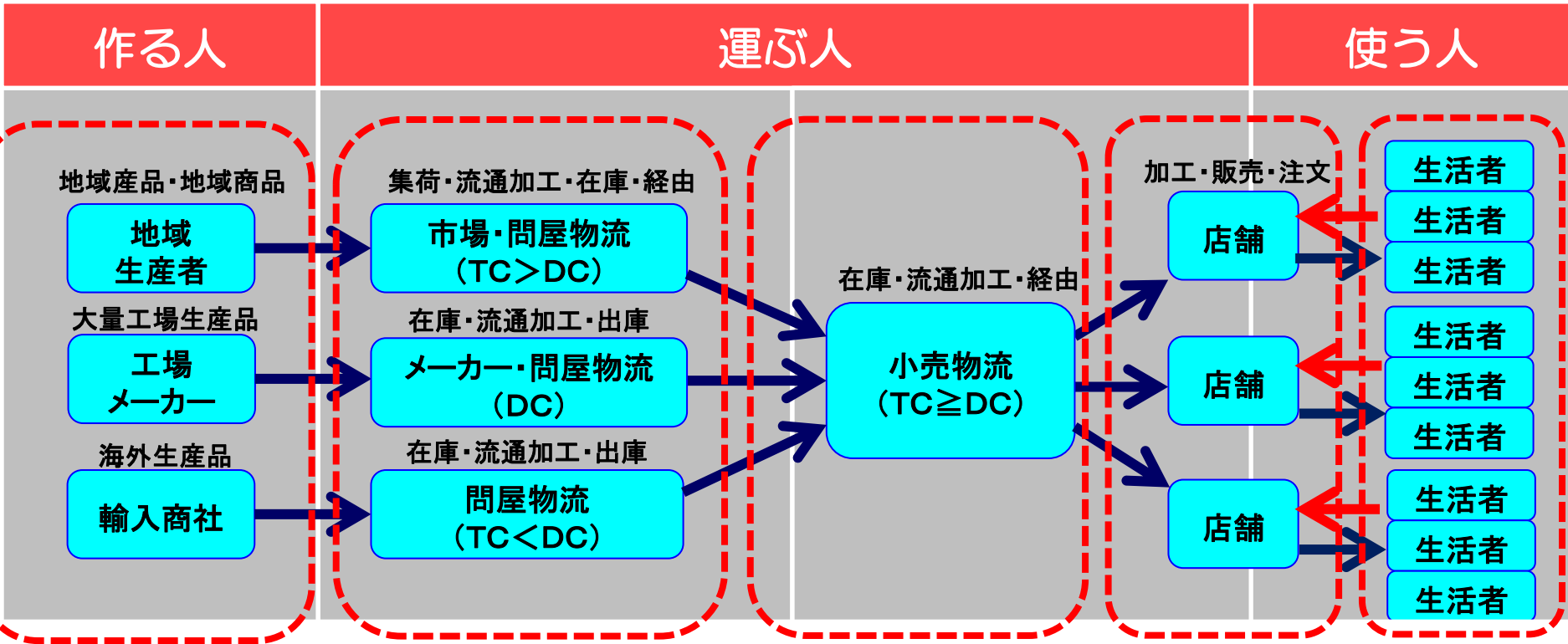
店内物流

消費者



**販売物流
の課題**

前後工程の様々な要望/条件により、
物流上のボトルネックが発生している。



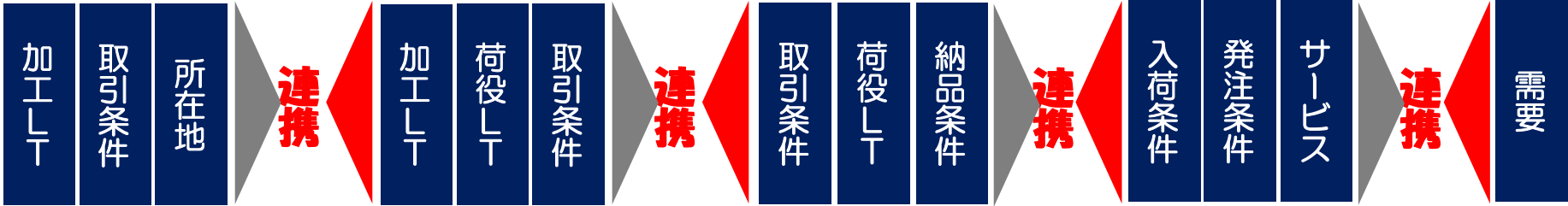
生産者

ベンダー物流

流通加工/店舗配送

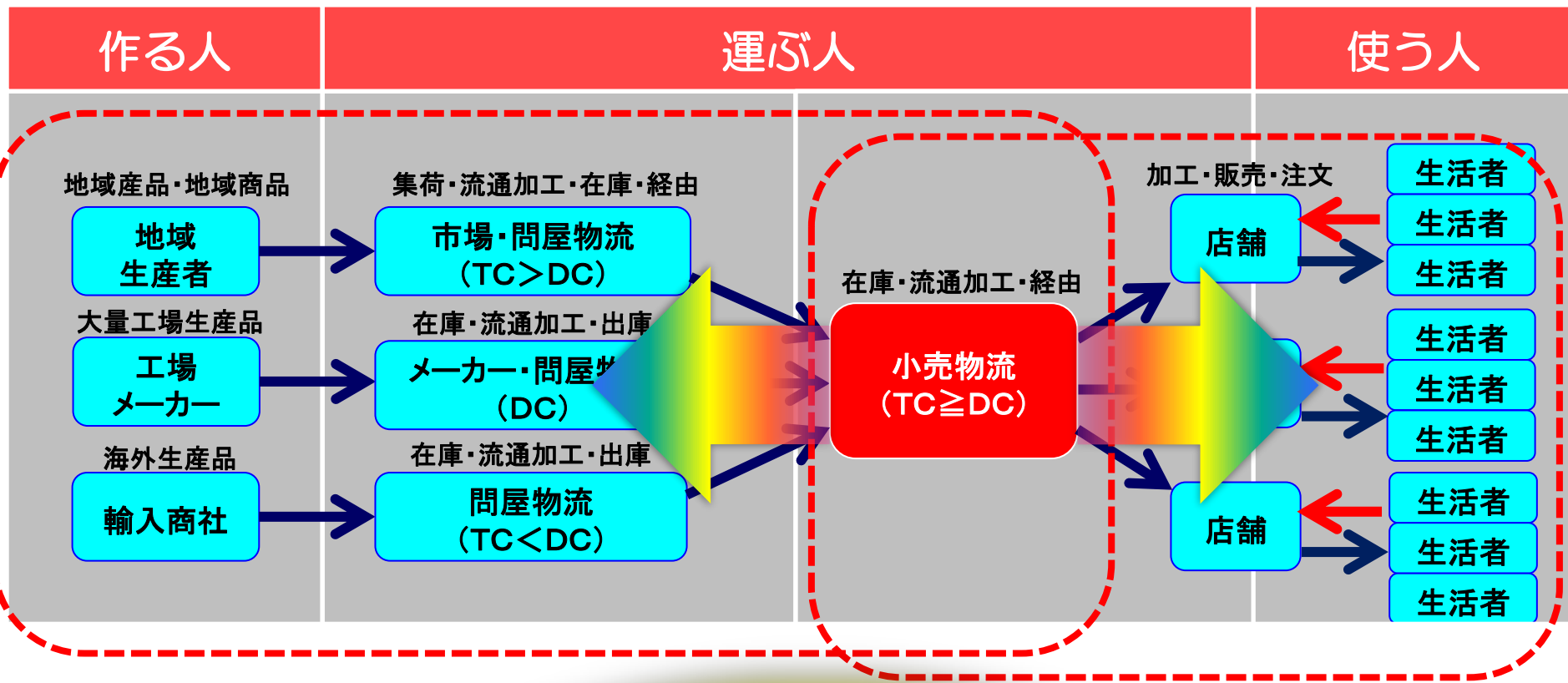
店内物流

消費者



課題解決方法

前後工程のボトルネック（悩み）を推進エネルギーにして連携を強化する。



■ SCM領域

■ DCM領域

運べない
危機

物流コスト
上昇

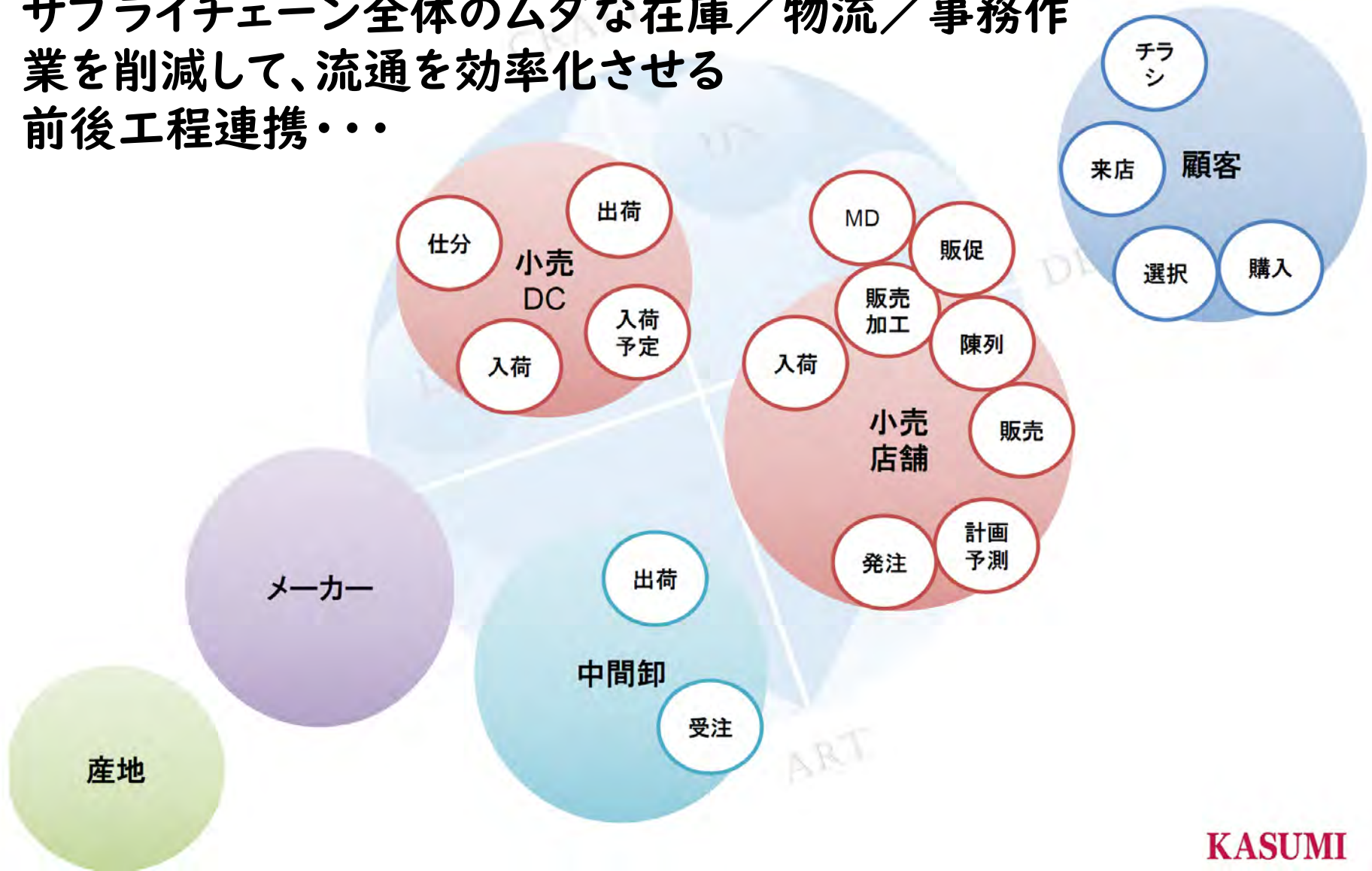
SCM領域の
ボトルネック
の解決

(小売物流の強み)
立ち位置の強みを活かした
SCM/DCM最適化

SCM領域の
ボトルネック
の解決

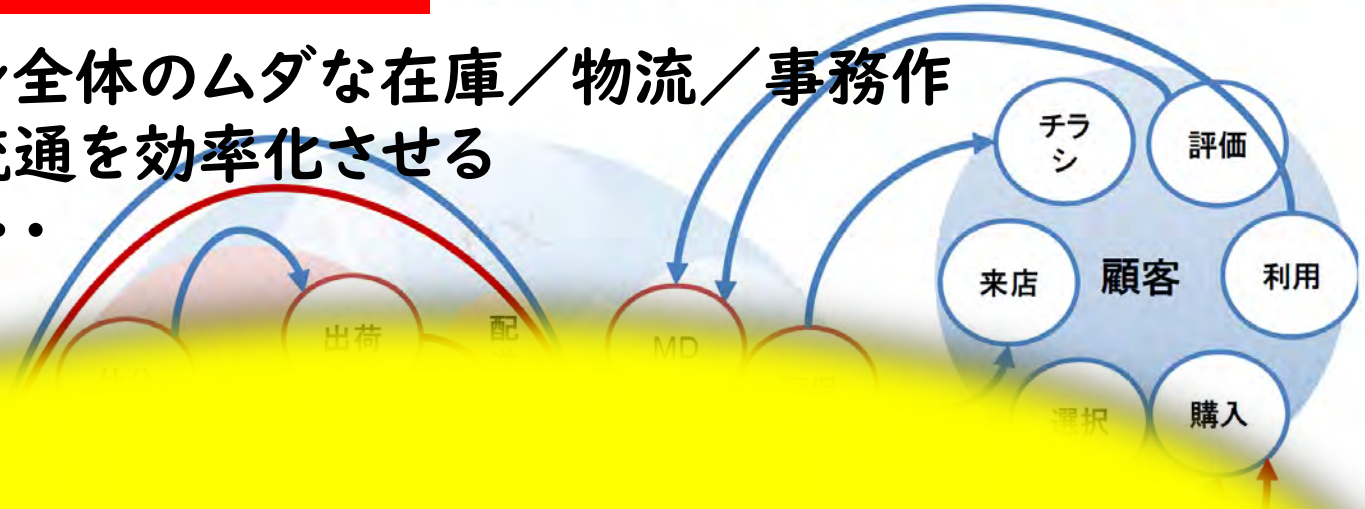
SCMの共通認識

サプライチェーン全体のムダな在庫／物流／事務作業を削減して、流通を効率化させる
前後工程連携・・・

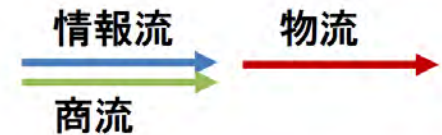


SCMの共通認識

サプライチェーン全体のムダな在庫／物流／事務作業を削減して、流通を効率化させる
前後工程連携・・・



**【目的】ムダな物流（店内物流含む）
& 事務作業を無くしていく**



KASUMI

SCMの共通認識

サプライチェーン
業を削
前

①発荷主／着荷主の連携施策

前後工程の物流課題を明確にし、
物流効率を優先した取引条件の変更を検討する
(1/2ルール、発注ロット、発注頻度、発注LT、納品LT、その他)

③ICT情報連携施策 (ABCの可視化)

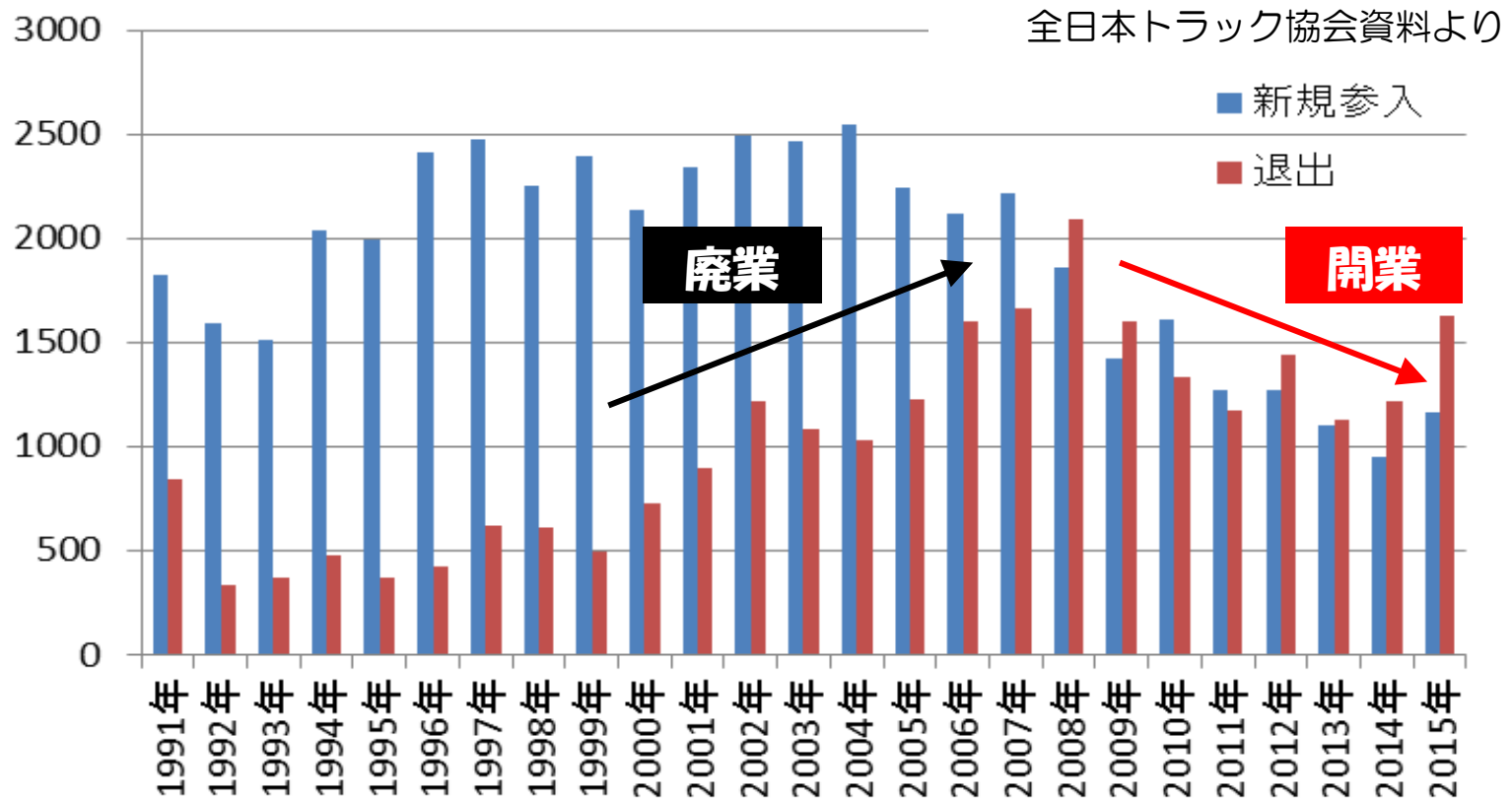
②物流現場との連携施策

物流危機の本質はドライバー不足
運送事業者を主役にした共同配送の必要性

お取引先様のドライバー不足に機能する
TC特性を利用した配送ネットワーク構築
(TC型SCM)

ドライバー不足

トラック事業者数推移



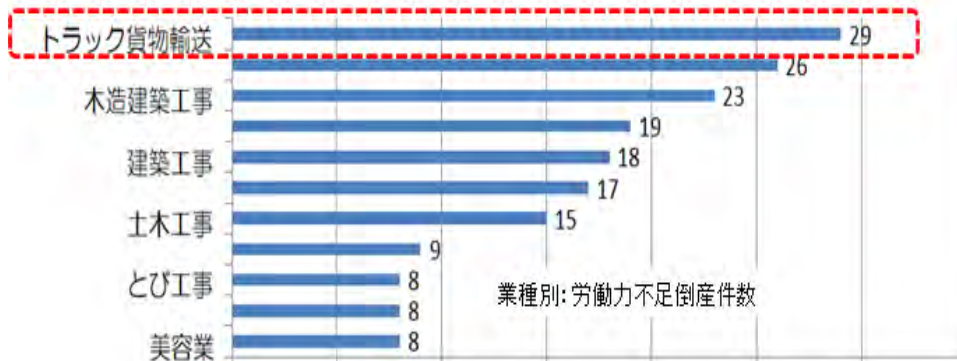
1990年の貨物自動車事業法施行以降、規制緩和の影響により新規参入事業者が急増。2008年以降は事業者間の競合等の影響により退出事業者が増加。ドライバー不足・高齢化等の影響もあり、今後も退出事業者の増加が見込まれる。

ドライバー不足

2024年問題（残業規制・割増賃金）

法令改正		施行日		罰則
		大企業	中小企業	
時間外労働の 上限規制	【一般則】 年720時間の適用	2019年4月1日	2020年4月1日	6カ月以下の懲役 または 30万円以下の罰金
	【自動車運転業務】 年960時間の適用	2024年4月1日		
月60時間超の 時間外割増賃金率の引き上げ (25%から50%)		2010年4月1日から 適用済	2023年4月1日	
年5日の年次有給休暇の取得義務付け		2019年4月1日		30万円以下の罰金

働き方改革関連法によって、「自動車運転の業務」に対し、年間残業上限960時間の適用が中小企業運送事業者へ開始される



労働力不足によるトラック貨物輸送の倒産件数増加が益々懸念

2024年問題の本質

【運送事業者視点】

1日に3.6時間以上の時間外労働が許されない上に、2.7時間を超えれば、これまでの倍額の時間外手当を支払わなければならない。



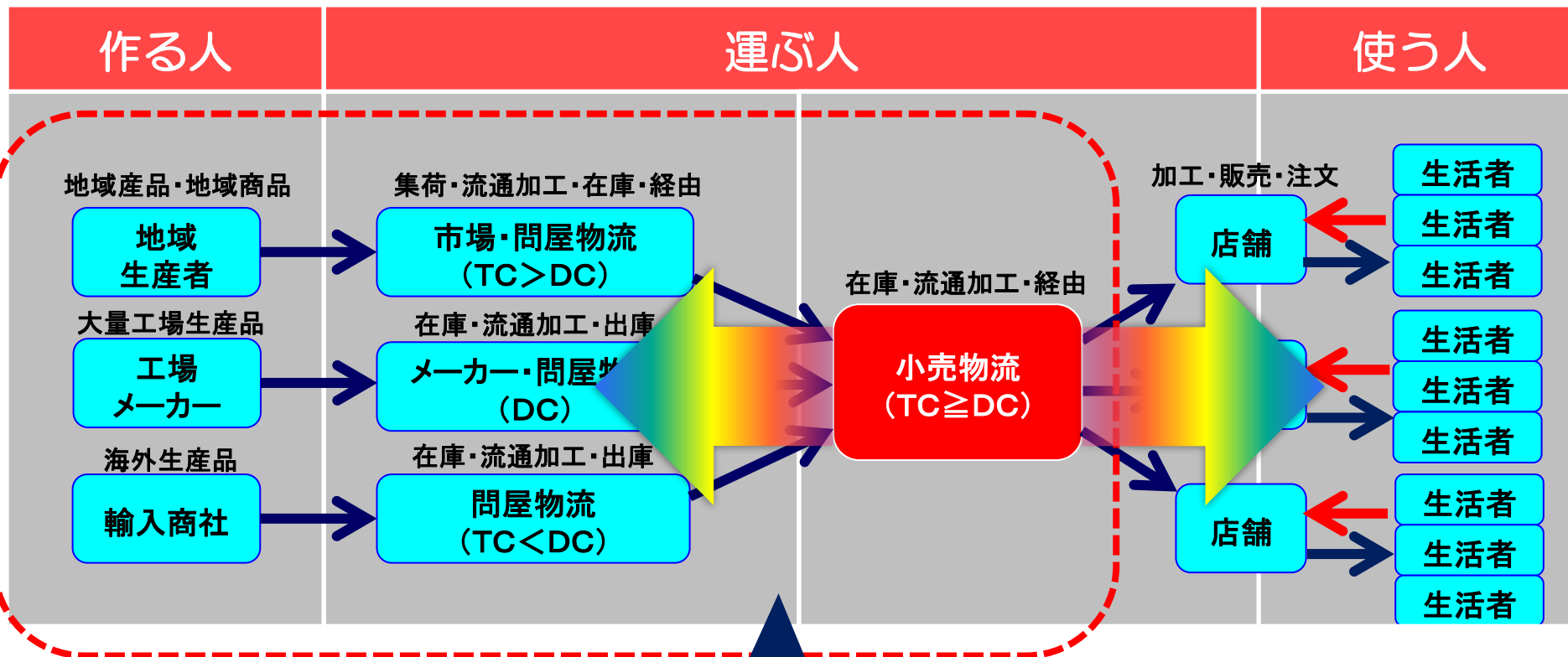
法的にも経営的にも
時間外労働の抑制現象が起きる



基本給等をアップできなければ・・・

- 収入減ドライバーの離脱
- 運送事業活動の縮小
- 悪条件の荷主からの離脱
(選ばれない企業の増加)

2024年4月1日からの年間残業時間960時間の総量規制施行により、時間給計算になっているドライバーは、経済的問題を抱える。収入減によるドライバーの離脱者が増加し、運送事業者は悪条件の荷主からの離脱。



TC特性を利用した調達ネットワーク構築

カスミの協力企業を中心に、2006年から店舗配送車両を利用したサプライヤーの納品代行がスタート。カスミは自社物流センターの遊休時間（スペース）と搬送機器を配送会社と取引先へレンタルし運用をサポート。
現在は取引先・同業他社に関連する物流協力企業同士が互いに連携する配送ネットワークに発展している。

TC型物流

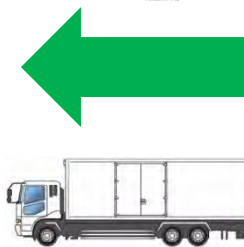
物流企業を主役へ

必要な商品を必要な時間に必要な分だけ仕入れ、新鮮な商品を安全に消費者へお届けする。主に食品小売企業のスタンダードシステムです。

店舗



店内陳列

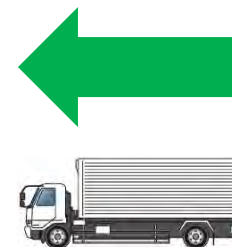


配送

経路センター



ピッキング

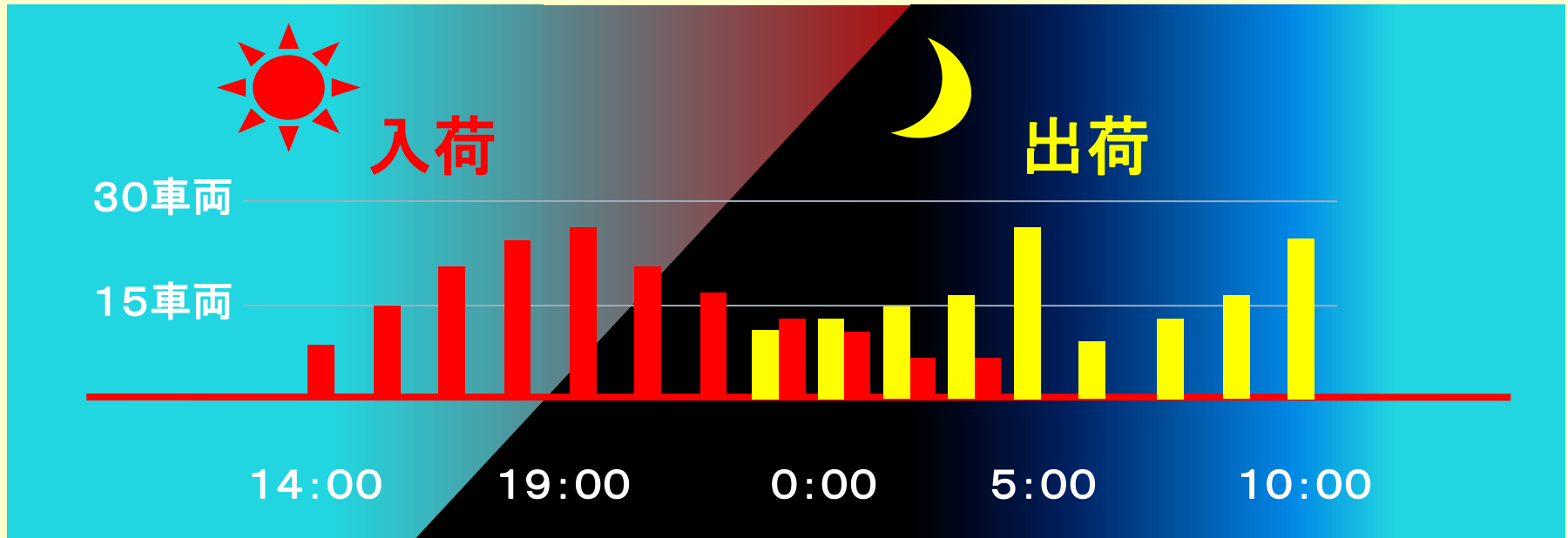


納品

メーカー

■ 経路センター型サプライチェーンマネジメント (TC型SCM)

納品代行をベースにした共同配送ネットワークを構築



調達



店配



入出荷コントロールの推進



店舗配送車両を利用 → 納品コントロール

改善効果

【メーカーメリット】

- ① 配送コスト削減
- ② 入荷クレーム減少
- ③ 増便対応力

【センターメリット】

- ① 作業効率化
- ② スペース効率化
- ③ 入場車両削減

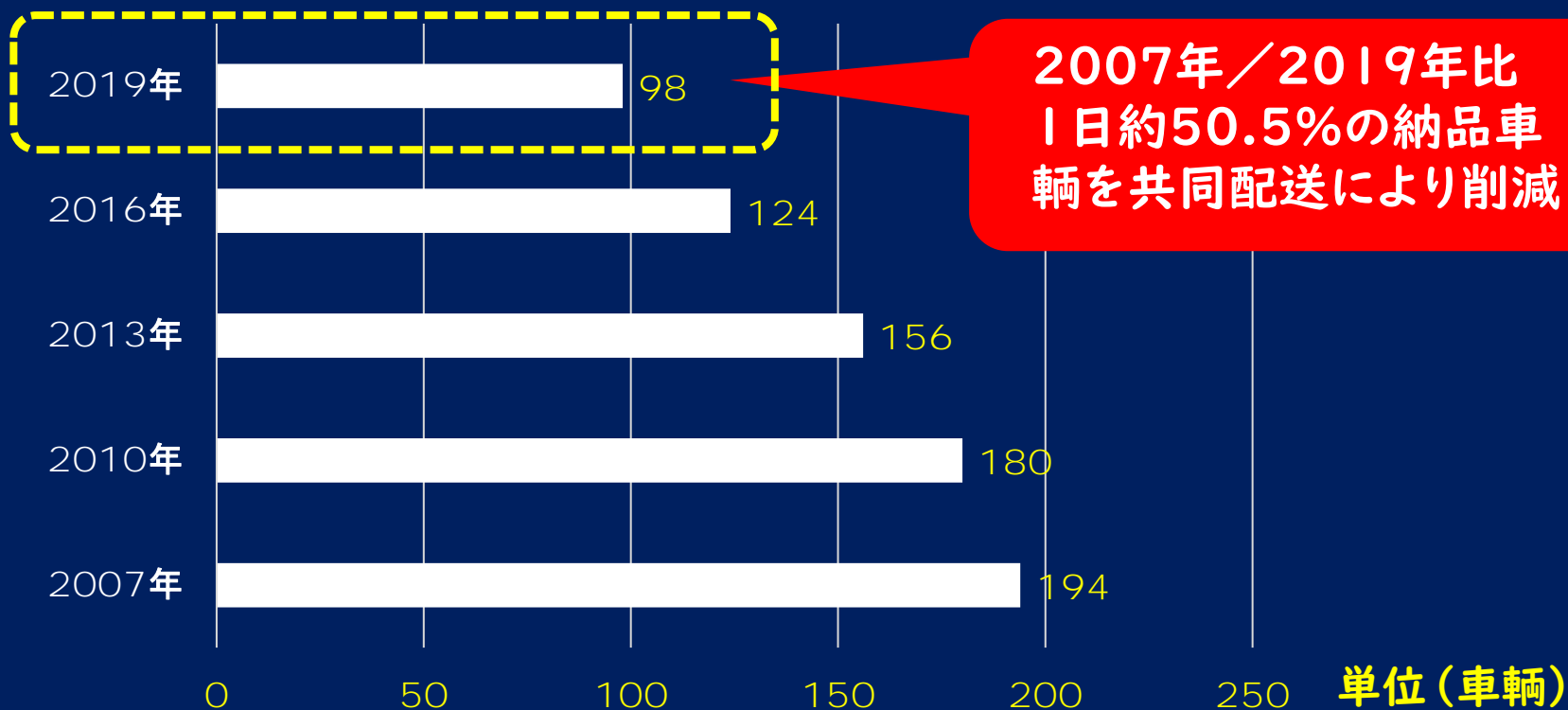
【店舗メリット】

- ① カテゴリー管理
- ② BCP対応力
- ③ 静脈物流対応力

入出荷コントロールの推進

入荷車両の削減

1日当たりの納品車両数の推移（期間平均値から算出）

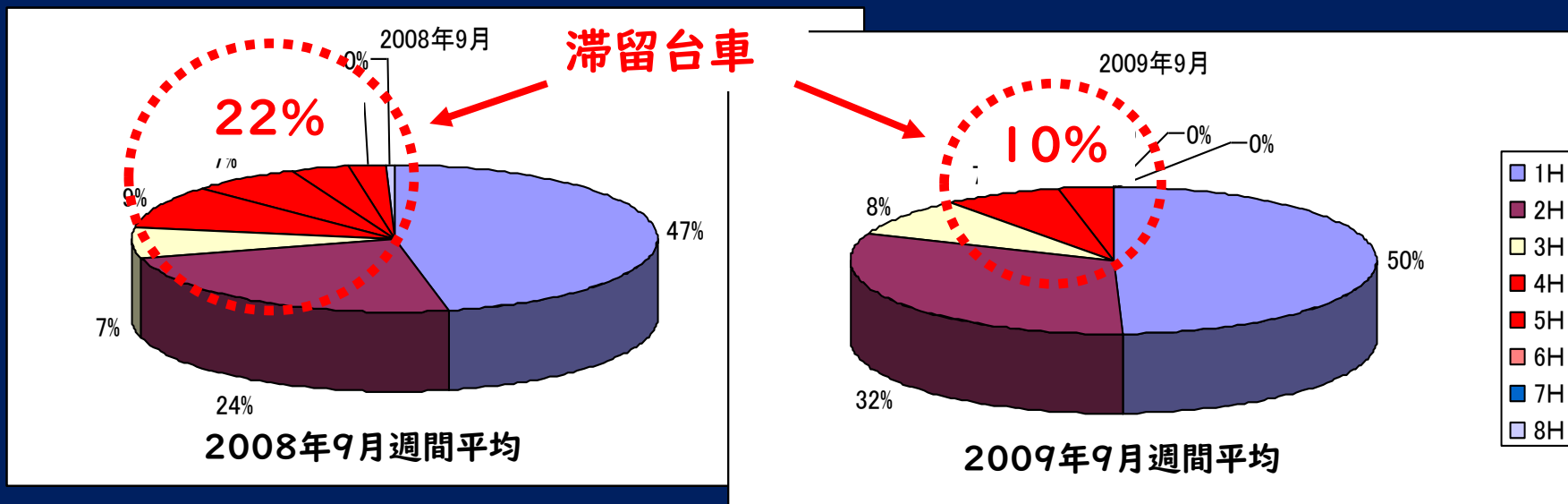


入出荷コントロールの推進

入荷量の平準化

入荷台車の構内滞留時間別構成比
(一定期間の日別平均値から評価)

SCMの推進により、最大700台車の商品をJIT入荷させることが可能になった。



4時間以上の仕分前滞留品を約12%削減、
約82%が入荷から2時間以内で仕分終了。

TC型SCMの構築ポイント (他社との実質的共同配送)

ロジスティクスセンター

CDC

中央流通センター



IDC

岩瀬流通センター



SDC

佐倉流通センター



積載情報収集
と連携先探索

群馬県

IDC

茨城県

CDC

埼玉県

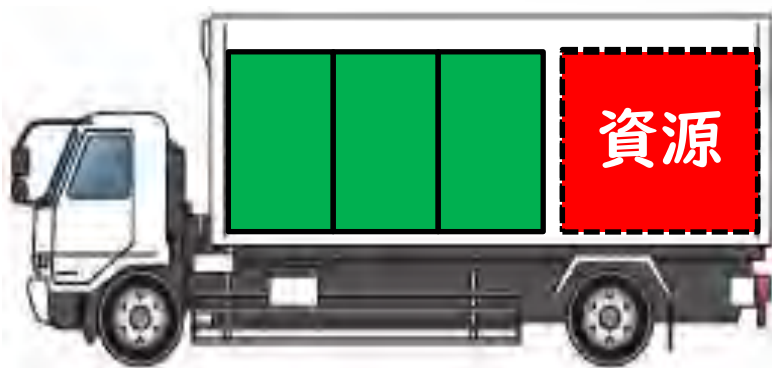
東京都

SDC

千葉県

各センターが情報収集拠点

4トトラック積載率調査



物流インフラ資源

積載率86%

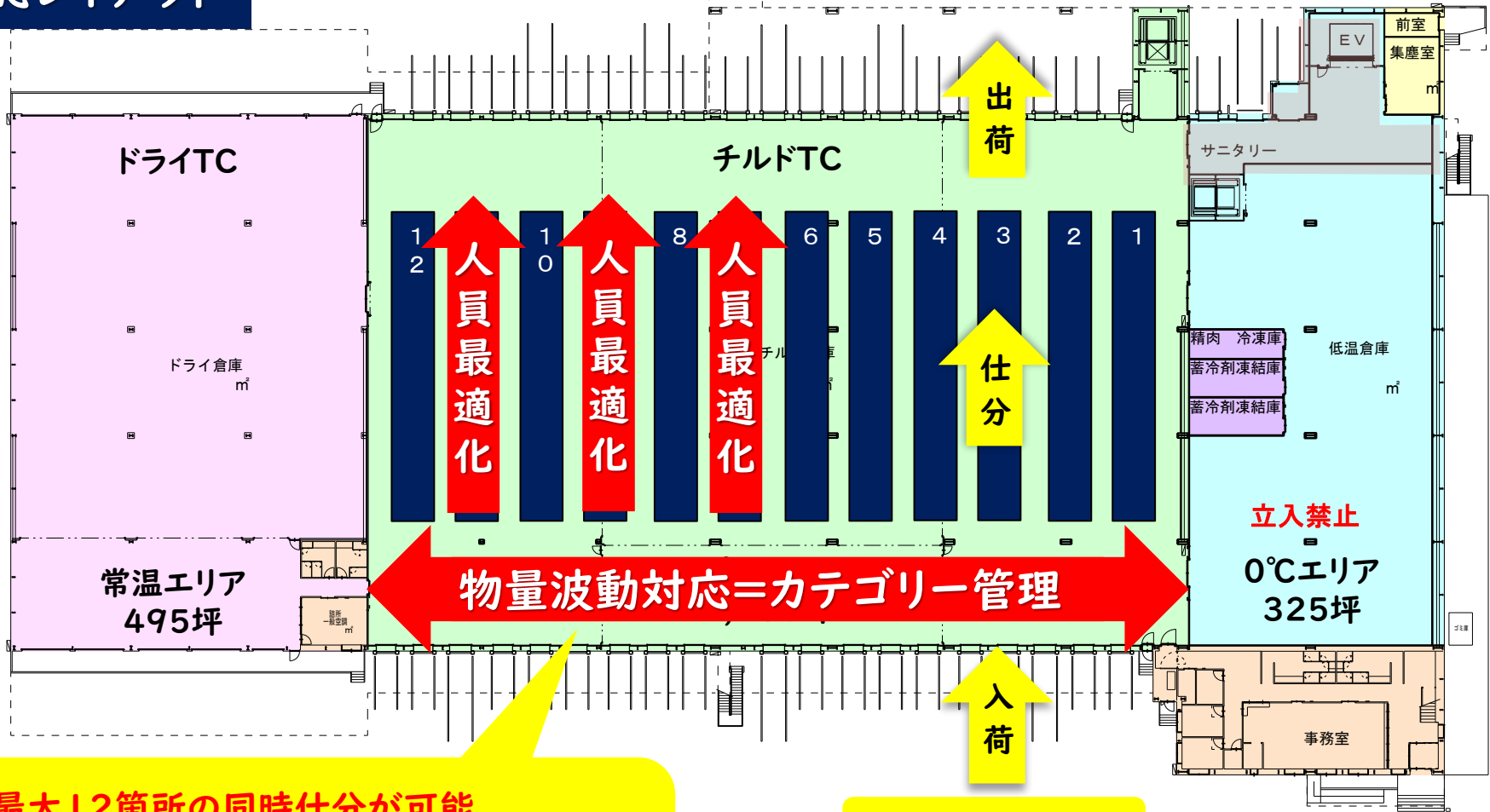
実車率66%

全運行の約40%の空間
が使われていない。

TC型SCMの構築ポイント

TC型SCM対応 レイアウト

TC型SCM 対応レイアウト



- 最大12箇所の同時仕分が可能
- ①メーカー物流の共同配送対応レイアウト
- ②カテゴリー仕分推進による店内物流削減
- ③人員投入最適化による仕分効率化

効率的なI型動線

TC型SCMの構築ポイント

各ステークホルダー
と契約スキーム

契約スキーム

三共貨物(株)
調達物流部

マッチング

参加物流企業
約80社

スペース
賃貸

カスミの主な収入源

- ① センタースペースレンタル
- ② 搬送機器レンタル
- ③ 商流での原価低減

(株)カスミ
物流/商流

条件交渉

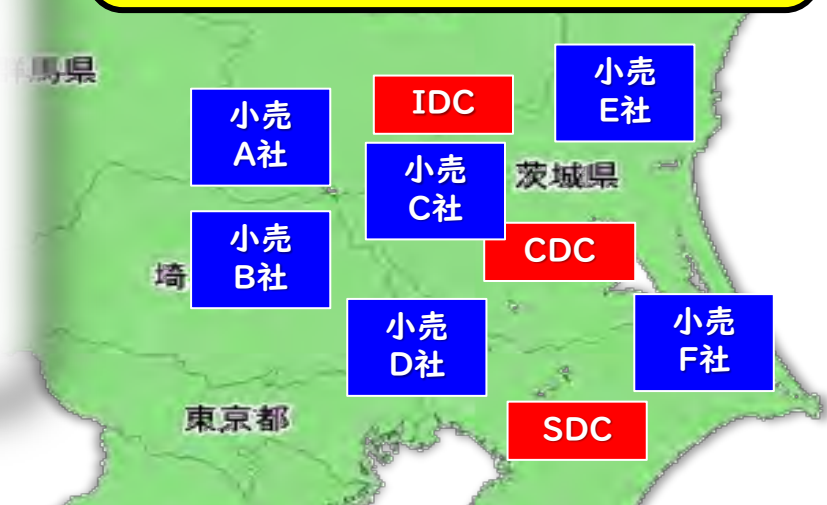
ベンダー・メーカー
約400社

TC型SCMの構築ポイント

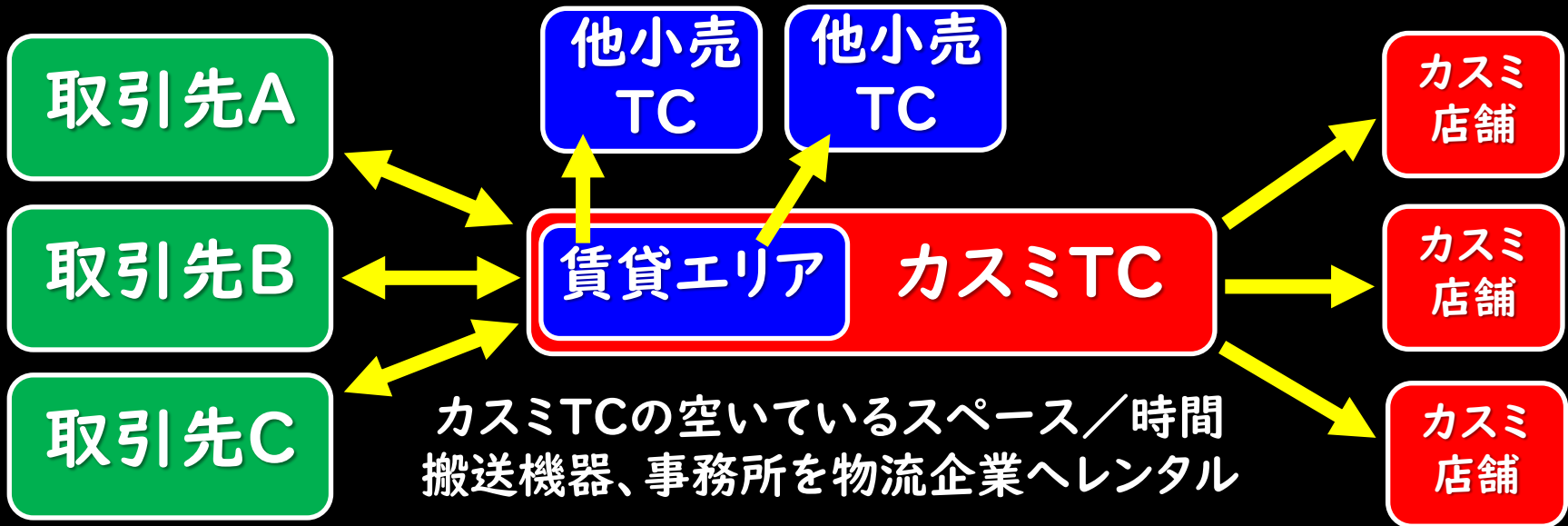
取引先の困りごとを解消 実質的な競合他社との共同配送

カスミと競合他社は直接共同配送はできないが、
物流企業を契約主体にすることにより実質的な
共配インフラへと成長している。

競合他社との 実質的な共同配送



センター前XDフロー



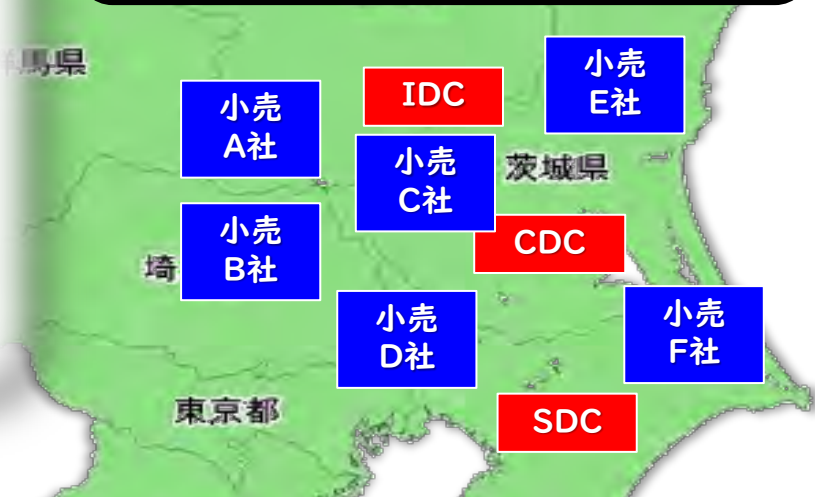
物流企業が主導する理由

■リソースとなるトラックの積載余力は、ドライバーと各社の配送管理者しか判らない。

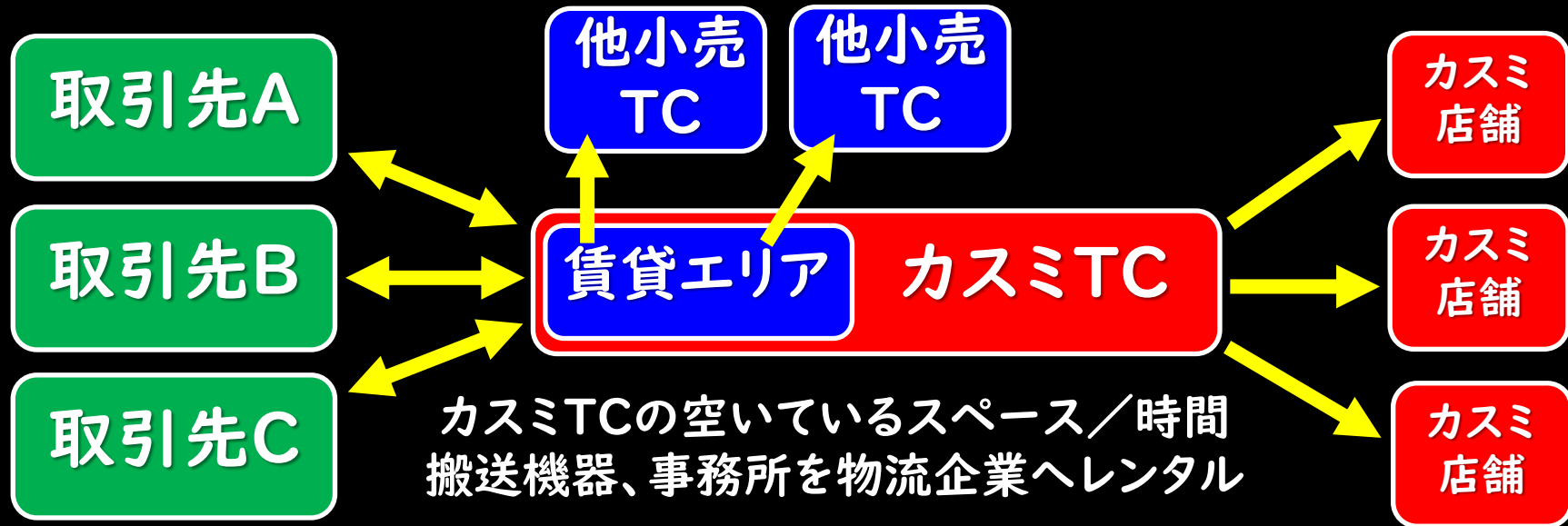
■ITデバイスによる積載状況の可視化も可能だが、車両をチャーターしない限りSCM上の他社積載情報は運送会社が握ることになる。

■荷主主導の可視化はバースマネジメント止まりで、共同配送のマッチングまでは実現できない。

競合他社との 実質的な共同配送



センター前XDフロー



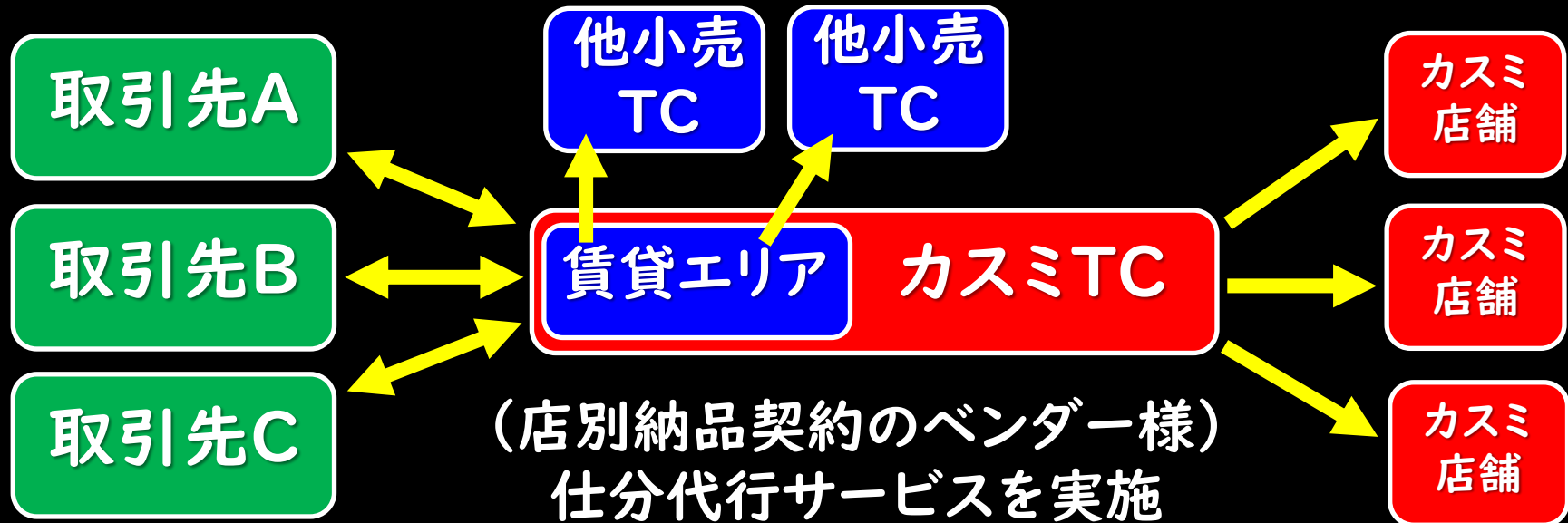
納品ドライバーの効率化施策

SDCの納品代行構内担当員



ドライバーの機能時給は
3,000円以上

SDC/IDCでは納品代行専属の構内作業員を配置し、納品ドライバーさんは、仕分や検品を彼らに任せて次の配送業務へGO!!

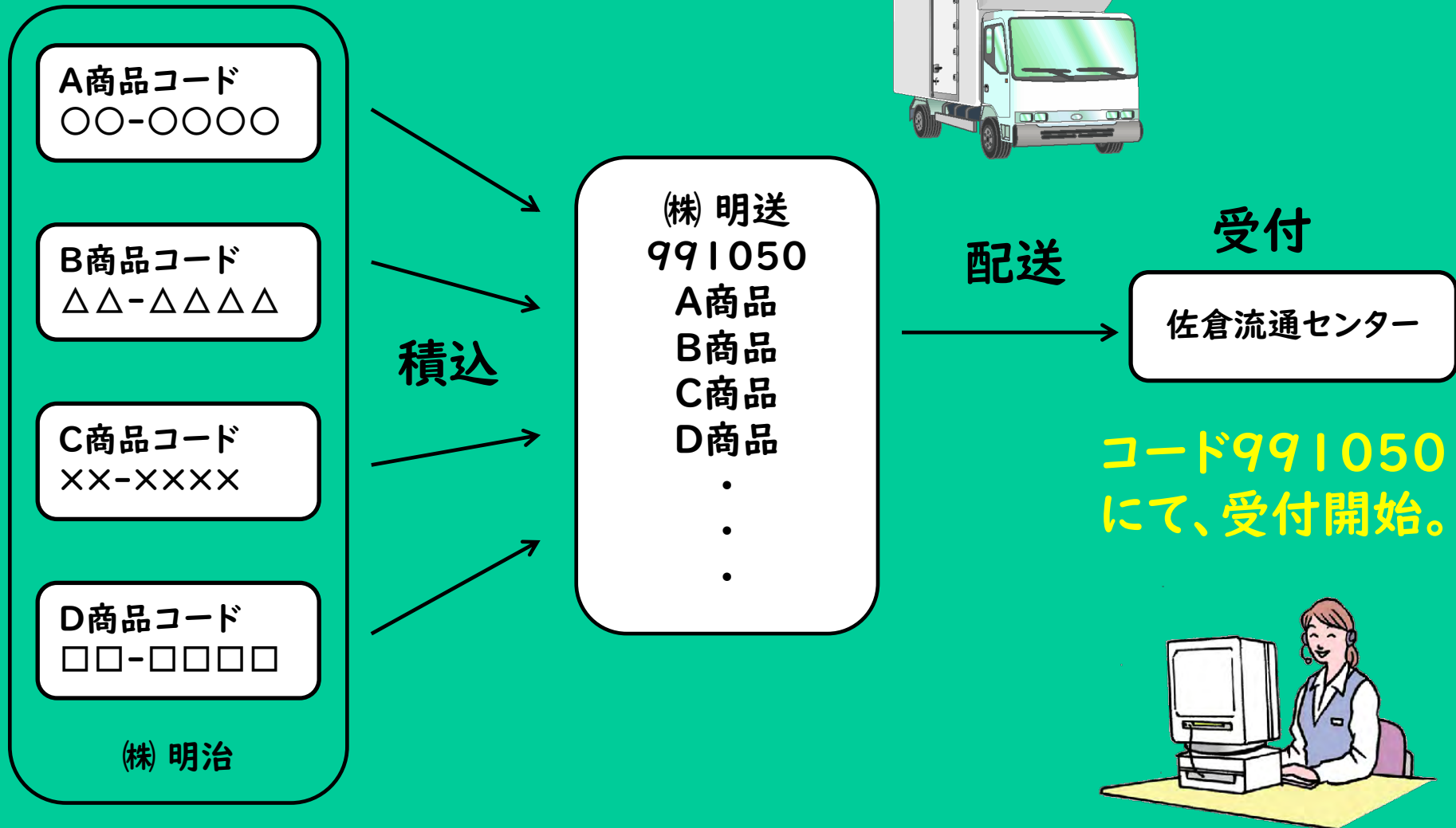




【目的】

- ①入荷受付：効率的なバースアテンドにより、納品車両の滞留（ドライバー負担）を削減する。
- ②入荷管理：入荷時の異常を発見し早期対策を図る。
- ③車両積載情報の見える化により、入荷検収業務を誰でも簡単にできるようにする。

SDC入荷受付の仕組み



商品と入荷車両の紐付け

<p>マルハニチロ フロマック ケンコー ルッコラ ロピア 田口 ホクガン ふじや① フルティシエ ふじや・あずま アンジュール 栃木レモン イオンTV/ふじや</p>	<p>80829(日本アクセス) 43354(三菱食品) 81124(三菱食品) 15989(茨城水産) 15970(広洋食品) 4170(日本アクセス) 47830(ニイガタキャリイ) 3204(国分) 41394(岩下食品) 30449</p>	<p>ABCロジテム</p>	<p>991161</p>	<p>一発着荷可能。 伝票を見て、合わせていく。 ふじやは、日本アクセスと茨城水産の2種あり。納品伝票を確認すること。</p> <p>ただし、ニイガタキャリのヤスダヨーグルト他は、993322に移動済み。三共和日配。22時チームにて出力対応。</p>
<p>佐々木 栃尾 関本 新札幌</p>	<p>47830(ニイガタキャリイ)</p>	<p>三共貨物自動車</p>	<p>993322</p>	<p>991161のABCロジテムから独立。22時チームにて出力対応。</p>
<p>いばらく乳業 (新札幌乳業) ヤスダヨーグルト 原田</p>	<p>5908(いばらく乳業) 47830(ニイガタキャリイ)</p>	<p>三共貨物自動車</p>	<p>993333</p>	<p>一発着荷可能。22時チームにて対応。</p>
<p>カネカシーフーズ カネリヨウ リュウコク その他</p>	<p>13340(常洋水産) 40436(常洋水産) 46906(茨城水産)</p>	<p>マックDS (鮮魚便)</p>	<p>992037</p>	<p>鮮魚商品。もずく系、めかぶ系、とろろ系。 今後も商品が増える可能性が大きいため、着荷時に納品書を見て、着荷させること。 基本的に、一発着荷可能。</p>

WMS画面操作

拠点 倉庫

レザケルマ レザケNo

荷主 カスミ 企業

納品日 納品業者 未指定含む

取引先 部門 入荷形態 着荷状態

納品業者 **991050**を入力

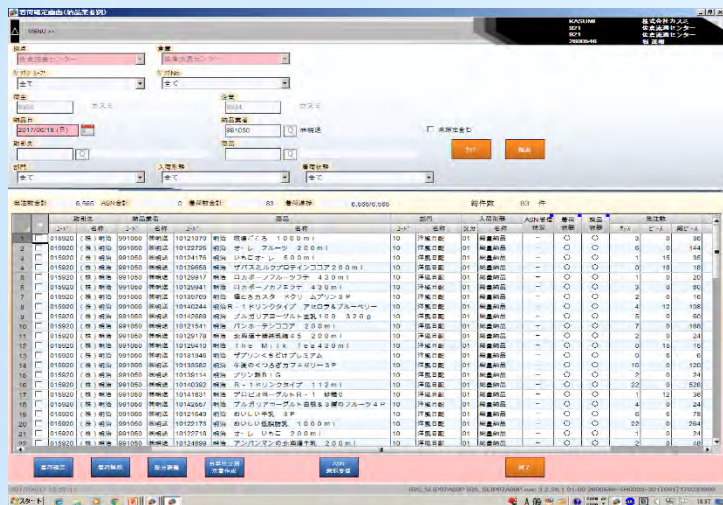
検索をかける

発注数合計 6,565 ASN合計 0 着荷数合計 83 着荷進捗 6,565/6,565 総件数 83 件

No	取引先	納品業者		商品		部門	入荷形態	ASN受信状況	着荷状態	検品状態	発注数				
		コード	名称	コード	名称						ケース	ピース	総ピース		
1	015920 (株) 明治	991050	神明送	10121070	明治 牧場ごころ 1000ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	3	0	36
2	015920 (株) 明治	991050	神明送	10122726	明治 オ・レ フルーツ 200ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	6	0	144
3	015920 (株) 明治	991050	神明送	10124176	明治 いちごオ・レ 500ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	1	15	35
4	015920 (株) 明治	991050	神明送	10129658	明治 ザバスミルクプロテインココア200ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	0	18	18
5	015920 (株) 明治	991050	神明送	10129917	明治 ロカボーンフルーツラテ 430ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	1	0	20
6	015920 (株) 明治	991050	神明送	10129941	明治 ロカボーンカフェラテ 430ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	3	0	60
7	015920 (株) 明治	991050	神明送	10139769	明治 極とろカスター・ドクリムプリン3P	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	2	0	16
8	015920 (株) 明治	991050	神明送	10140244	明治 R-1ドリンクタイプ アセロラ&ブルーベリー	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	4	12	108
9	015920 (株) 明治	991050	神明送	10142689	明治 ブルガリアヨーグルト生乳100 320g	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	5	0	60
10	015920 (株) 明治	991050	神明送	10121541	明治 バンホーテンココア 200ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	7	0	168
11	015920 (株) 明治	991050	神明送	10121541	明治 北海道産牛乳 500ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	2	0	24
12	015920 (株) 明治	991050	神明送	10129658	明治 ザバスミルクプロテインココア200ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	0	15	15
13	015920 (株) 明治	991050	神明送	10131946	明治 ザプリンくちどけプレミアム	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	0	6	6
14	015920 (株) 明治	991050	神明送	10133582	明治 午後のつるぎカフェゼリー3P	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	15	0	120
15	015920 (株) 明治	991050	神明送	10139114	明治 プリン超BIG	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	2	0	24
16	015920 (株) 明治	991050	神明送	10140392	明治 R-1ドリンクタイプ 112ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	22	0	528
17	015920 (株) 明治	991050	神明送	10141631	明治 プロバイオヨーグルトR-1 砂糖0	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	1	12	36
18	015920 (株) 明治	991050	神明送	10142557	明治 ブルガリアヨーグルト生乳白糖&3種のフルーツ4P	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	4	0	24
19	015920 (株) 明治	991050	神明送	10121649	明治 おいしい牛乳 3P	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	6	6	78
20	015920 (株) 明治	991050	神明送	10122173	明治 おいしい低脂肪乳 1000ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	22	0	264
21	015920 (株) 明治	991050	神明送	10122718	明治 オ・レ いちご 200ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	1	0	24
					明治 アンパンマンの北海道牛乳 200ml	10	洋風日記	01	総量納品	-	○	○	2	0	48

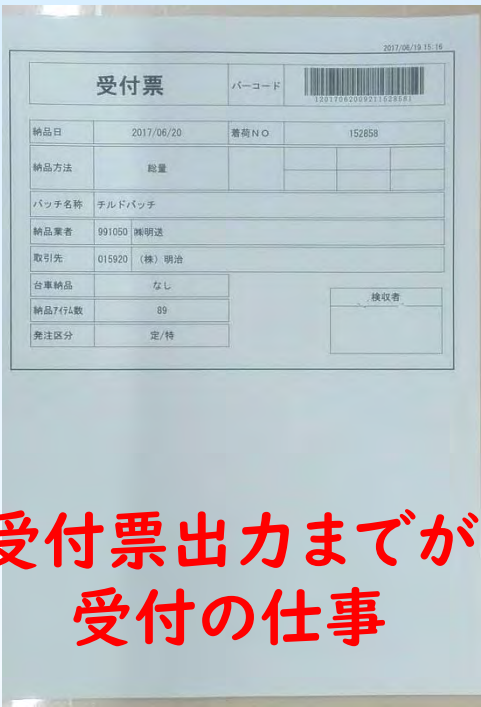
全ての商品がリストアップされる

入荷受付の流れ



着荷確定

受付票出力



受付票出力までが
受付の仕事

受付票のバーコードを
スキャンすることにより
検品が開始されます。

入荷検収が誰でも
簡単にできる。



構内検品

現場へ

車両と入荷バースの紐付け

トラックが入っているバースを可視化。



納品ドライバーを待たせないバースマネジメント

1時間前に納品業者様の
受付票を出力しておく。

入荷受付システムの効果

入荷受付システムの効果
受付⇒ バース案内まで1分未満で完了



受付開始



1分未満でご案内



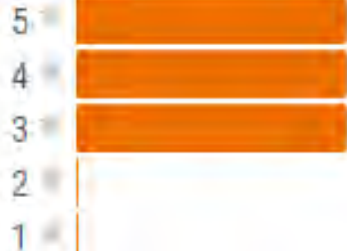
～お褒めの言葉～



Google Chrome を入手

自動更新機能を備えた、速くて安全なブラウザ

← すべてのクチコミ



モシモン

11 件のクチコミ・5 枚の写真

★★★★★ 2か月前

新しく、設備は整ってます。待たなくてすむし、受付の感じも良好です。

役に立ちましたか? 共有

並べ替え: 参考度の高い順



モシモン

11 件のクチコミ・5 枚の写真

★★★★★ 2か月前

オープンしたばかりで設備は整ってます。待ち時間も短く、受付の対応もいい感じです。

役に立ちましたか? 共有

納品ドライバー
さんから、最高の
褒め言葉を
いただきました!

現場を主役にする理由

Social Shift
ソーシャルシフト

SNSによるコミュニケーションの拡大は
情報伝達方法と価値観を大きく変えた・・・

ニセモノが淘汰され
共感をより多く得たホンモノが生き残る時代

× 情報を
信用する



人を
信用する ○

結 果

≤

プロセス

現場を主役にする理由

Social Shift
ソーシャルシフト

SNSによるコミュニケーションの拡大は
情報伝達方法と価値観を大きく変えた・・・

ニセモノが淘汰され
共感をより多く得たホンモノが生き残る時代

物流現場は前後工程
の異常を目撃している

結 末 = プロセス

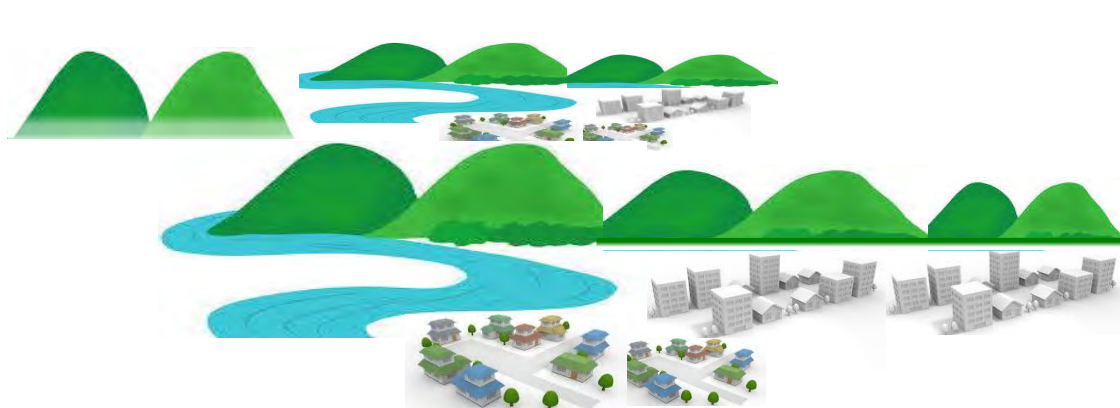
最後に・・・

前後工程の役割を考える（小売の役割とは）・・・

山と谷の日本列島では、古き時代より谷と裾野を中心に人々が暮らし、地域の小さなサークルで富の再分配を実行してきた。

国内の小売物流（販売物流）は、日本で暮らす全ての生活者に必要な生活用品を届けるための基盤であり、全ての国内産業の活動インフラである。

そして現在、少子高齢化・人口減少・SNSコミュニケーション等々～日本の人口動態は世界に先駆けて変革期に突入し、尚且つ、インターネットを中心としたICTコミュニケーションは、生活者のライフスタイルを変化させた。



最後に・・・

前後工程の役割を考える（小売の役割とは）・・・

- ① 日本は96%のエネルギーを外国に依存している。
- ② 小売物流は全ての生活者の生命インフラ。
- ③ 全ての商品には物流コストが含まれている。

エネルギー
問題



最後に・・・

前後工程の役割を考える(小売の役割とは)・・・

- ① 日本は96%のエネルギーを外国に依存している。
- ② 小売物流は全ての生活者の生命インフラ。
- ③ 全ての商品には物流コストが含まれている。

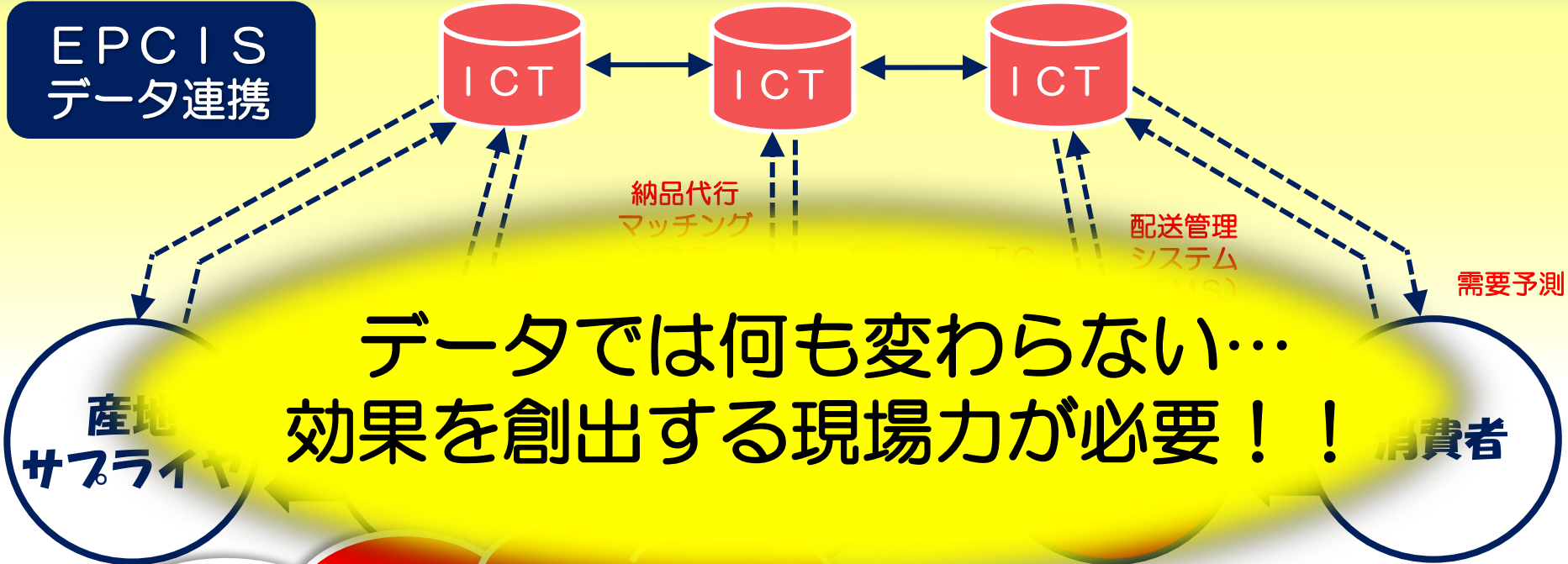
エネルギー
問題

販売物流のムダを削減することで、国内のエネルギー消費を抑制できる。



最後に・・・

前後工程の役割を考える (ICTの役割とは)・・・



**データでは何も変わらない…
効果を創出する現場力が必要！！**



システムはツール…
データは共通言語…
SCMの本質は連携力!!

消費者
ラストワンマイル
(宅配便)
(移動販売)
(箱ポス)
(ドローン)

店舗 (FRM)

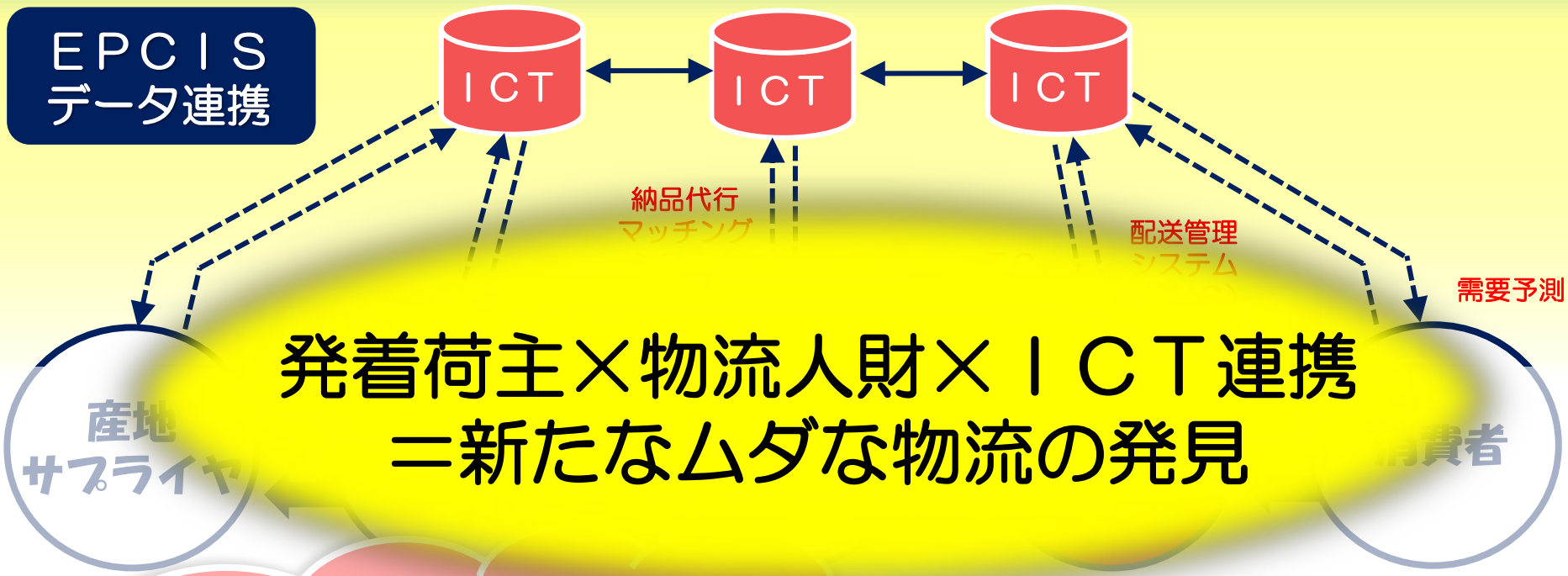
小売 (WMS)

小売 (TC P/設備/W)

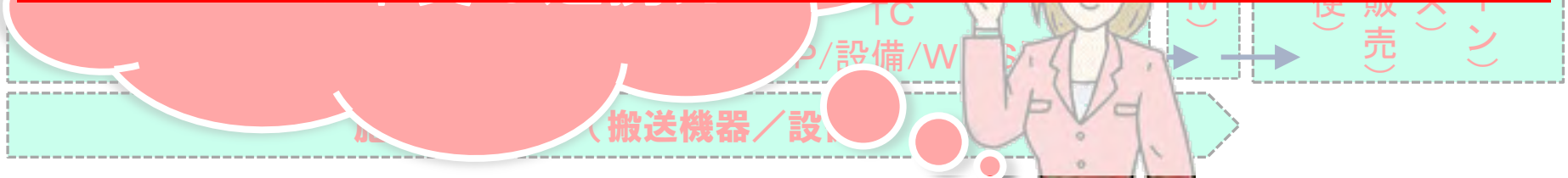
(搬送機器/設)

最後に・・・

前後工程の役割を考える (ICTの役割とは)・・・



フィジカルインターネットの効果に繋がる



フィジカルインターネットで
前後工程の現場が連携する
知のエコシステムを
構築しよう!!

ありがとうございました！！

presents by 

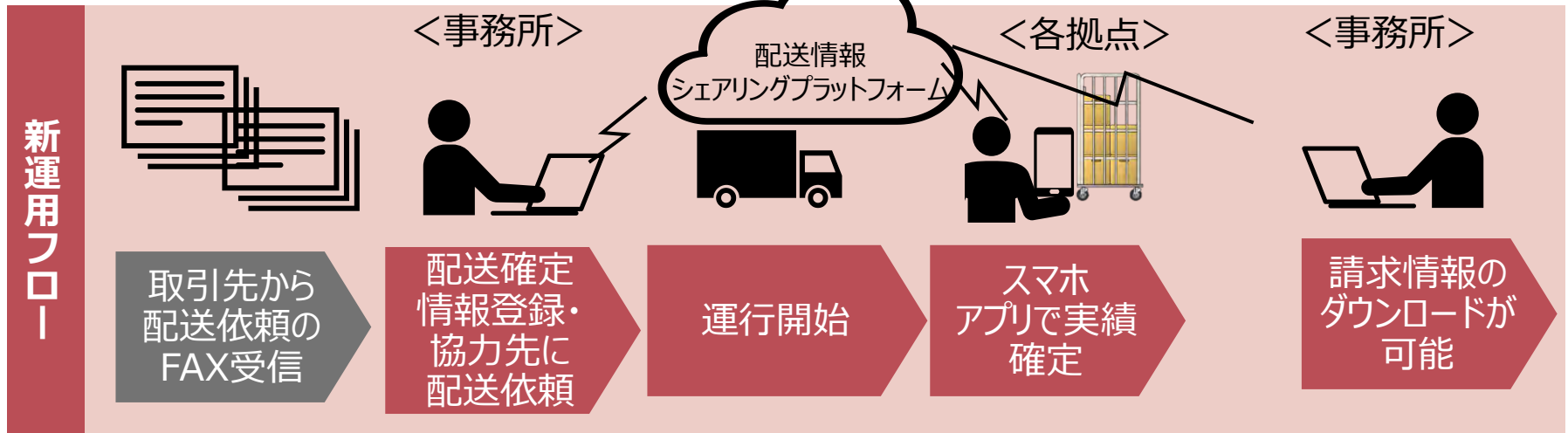
參考資料

配送情報シェアリングプラットフォーム ご紹介

2021/10/26

株式会社日立製作所

STEP1での運用フロー（運送会社視点）

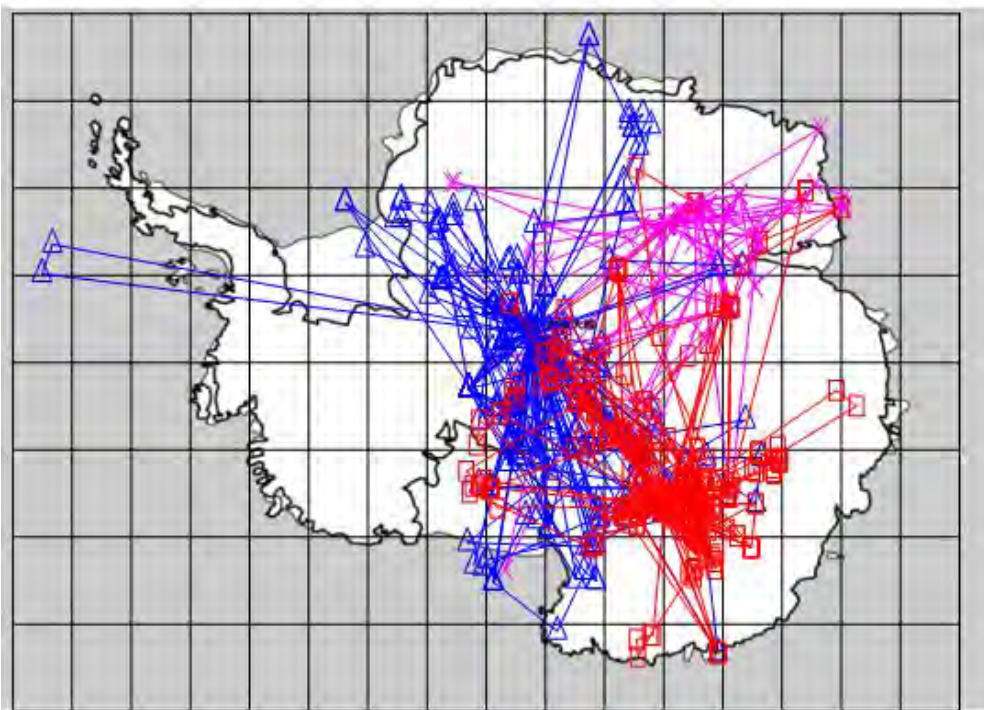


↑取引先側で配送依頼登録
をしてもらうことも可能

めざしていること (STEP2 : 輸送能力の維持・改善)

STEP2: 運送会社同士の運行便情報の共有による効率的な配車を実現 ※運送会社の収益改善

	ご利用前	ご利用後	メリット
1	自社内での改善検討もしくは属人的な繋がりを利用した改善調整	車両・コース単位の運行情報を可視化。PF上の運送会社同士で共有。(求貨・求車情報提供)	運送会社同士の荷物の融通促進による赤字運行コースの削減



具体的に見込める効果

- 経費削減 * 走行距離削減
 - 燃料代、労務費、高速料金
 - メンテナンス代 など
- リスク削減 * 運行時間確保
 - 信頼消失 (遅納、欠品の削減)
 - 人的リソース消失 (事故、違反の抑止)
 - 社会的地位消失
- 環境貢献
 - CO2削減

※イメージです。
サービス提供開始時点では
一覧表での情報提供です。

めざしていること (STEP3 : サプライチェーン全体の効率化) HITACHI Inspire the Next

STEP3 : サプライチェーンのステークホルダ間でデータ連携させ、物流ネットワークの最適化
 <発荷主 (メーカー・卸) >

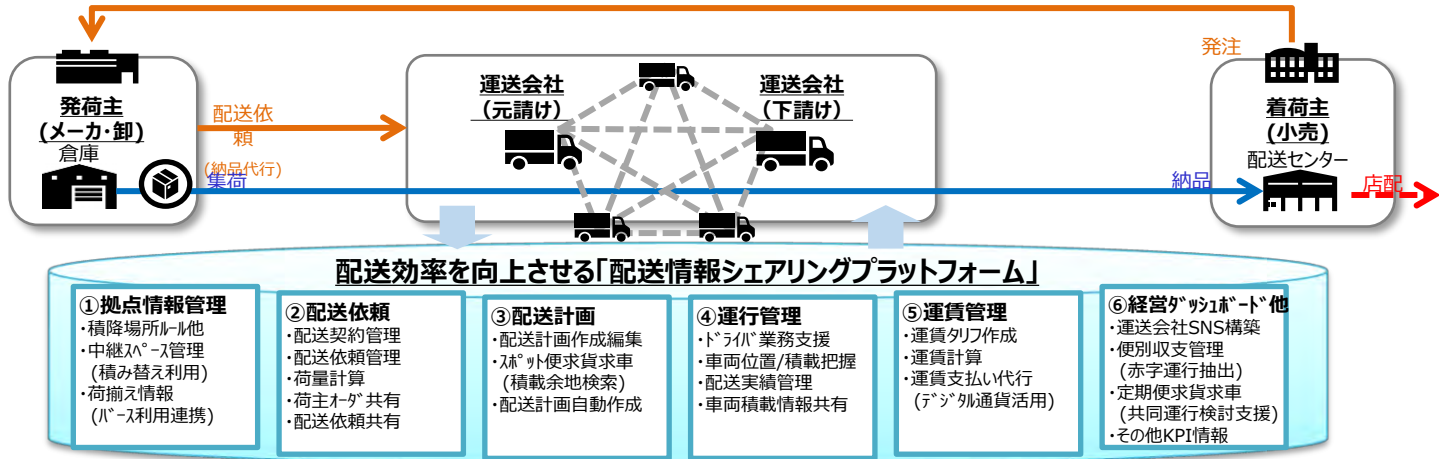
	ご利用前	ご利用後	メリット
1	運べないことがビジネス制約	求貨・求車機能 (予定) により、届けられる可能性が高まる	ビジネス拡大
2	商品原価 (原料代、物流費など) 高騰への対応を小売から求められる。	混載配送の活用による配送コストの高騰抑止の可能性はある	商品原価高騰抑止による取引維持

<着荷主 (小売) >

	ご利用前	ご利用後	メリット
1	センター納品車両の積み荷がわからない	車両に対する積載情報が可視化	事前準備、受付業務の効率化 入荷から出荷までの時間短縮
2	車両が入ってくるタイミング、出ていくタイミングをコントロールできない	車両位置情報を把握 (到着を早期把握)	荷降し、積込の自動化、省人化 コントロールに活用
3	チャーター配送主体	混載配送利用の促進	混載配送による配送コスト削減

配送情報シェアリングプラットフォームの機能概要

● 全体像



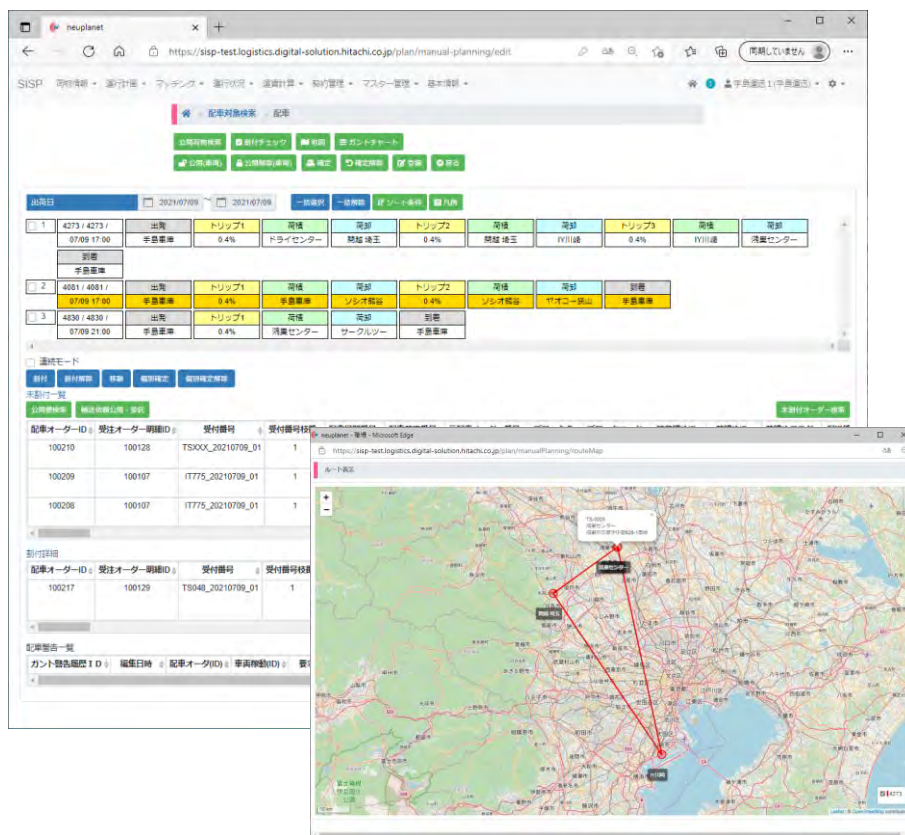
● 機能リリースのロードマップ (計画中)

2021年度	2022年度～
<p>「新業務運用の定着 (デジタル化加速)」</p> <p><1次開発 (済)></p> <ul style="list-style-type: none"> ② 配送依頼 配送依頼管理、配送依頼共有 ③ 配送計画 配送計画作成編集、スポット便求貨求車 ④ 運行管理 ドライバ業務支援、車両位置/積載把握、配送実績管理、車両積載情報共有 ⑤ 運賃管理 運賃タリフ作成、積降し実績集計、運賃計算 	<p>「実績データ活用による改善」</p> <p><2次開発 (予定)></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 拠点情報管理 積降場所ルール他 ② 配送依頼 配送契約管理、荷主オーダー共有 ③ 配送計画 配送計画自動作成 ⑥ 経営ダッシュボード他 便収支管理(赤字運行抽出)、定期便求貨求車(共同運行検討支援)、その他KPI情報

・PC画面、スマホ用アプリを提供します。

<PC画面>

発荷主: 配送依頼登録、配送状況確認、運賃確認
 運送会社: 配送依頼に対する車両割付、配送状況確認
 運賃確認
 着荷主: 配送状況確認



<スマホ用アプリ画面>

ドライバーが配送依頼に対する作業実績を適宜入力

